

項目ごとの自己評価

住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するため取るべき措置

1. 公立病院として担うべき医療

(1)5 疾病に対する主な医療の取り組み

中期目標	<ul style="list-style-type: none"> ・がんについては、地域がん診療連携拠点病院として、手術や化学療法及び放射線療法など専門的ながん治療を行うと共に、早期発見や患者へのサポートを行うなど、幅広いがん支援活動を行っていくこと。 ・脳卒中については、迅速に診断・治療・リハビリテーションを実施し、早期離床・早期回復に取り組むこと。広域医療圏の設定に基づいて示される当院の役割に応じて体制を随時見直すこと。 ・心筋梗塞については、夜間・休日を含め、緊急心臓カテーテル検査や、治療患者を受入可能な体制を整えること。又、早期から心臓リハビリテーションを行い、患者の早期の社会復帰を目指すこと。 ・糖尿病については、かかりつけ医での治療を基本とし機能分化を進めること。又、糖尿病性腎症重症化予防等、疾患の進展を阻止し合併症を予防する治療を推進すること。 ・精神疾患については、入院患者に対する精神的ケアを中心とした診療を継続していくこと。
------	--

中期計画	法人自己評価	評価	評価	設立団体の評価														
(1)5 疾病に対する主な医療の取り組み	(1)5 疾病に対する主な医療の取り組み	3	3	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> </tr> <tr> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </table>	元年度	2年度	3年度	3	3	3								
	元年度			2年度	3年度													
3	3	3																
I. がん 地域がん診療連携拠点病院（地域がん診療病院）として、手術や化学療法及び放射線療法などによる専門的ながん治療を行っていく。また、がん対策基本法及び滋賀県が策定したがん	I. がん <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> <tr> <td>評価結果</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </table> 主な実績等 ・地域がん診療病院（令和元年7月まで地域がん診療連携拠点病院）として、手術、化学療法、放射線療法等の集学的治療から緩和ケアなどの専門的ながん治療を行うとともに、がん患者への相談支援等により、全人的かつ総合的なサポートを行った。	年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価結果	4	3	3	(3)	(3)	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> </tr> <tr> <td>4</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </table> 新型コロナ禍において手術件数が目標数に到達していないが、化学療法と放射線治療は、おおむね計画通りとなっている。	元年度	2年度	3年度	4	3	3
年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度															
評価結果	4	3	3															
元年度	2年度	3年度																
4	3	3																

中期計画	法人自己評価					評価	評価	設立団体の評価																																
<p>対策推進計画に基づいたがんの早期発見やがん患者への全人的かつ総合的なサポートも行っていく。このため、健診センター、緩和ケア病棟並びにがん相談支援センターなどを活用して、幅広いがん支援活動を今後も精力的に行っていく。さらに、滋賀県がん診療協議会を通じて、がんに関するあらゆる情報を発信共有してがん診療の水準向上に寄与していく</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標指標</th> <th>平成29年度実績</th> <th>令和4年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がん手術件数</td> <td>448例</td> <td>515例</td> </tr> <tr> <td>化学療法件数</td> <td>2,032例</td> <td>2,159例</td> </tr> <tr> <td>放射線治療件数</td> <td>134例</td> <td>140例</td> </tr> </tbody> </table>	目標指標	平成29年度実績	令和4年度目標	がん手術件数	448例	515例	化学療法件数	2,032例	2,159例	放射線治療件数	134例	140例	<p>・患者へのサポートとして、社会福祉士がハローワークと共同で、がん患者の就職に関する個別相談を行った。</p> <p>・両市等から委託を受け、がん検診（胃・肺・大腸・乳・子宮）を実施し、がんの予防・早期発見・診断・治療を行った。</p> <p><u>評価等</u></p> <p>・新型コロナウイルス感染症の影響もあり、手術件数が目標数に到達していないが、化学療法と放射線治療は、おおむね計画通りである。</p> <p>・当院は、がんに関し、予防から急性期医療、緩和ケア、在宅看取りまで、総合的に対応できる病院であるので、情報発信を強化し、地域のがん医療の拠点としての役割を果たしていく。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標指標</th> <th>H29実績</th> <th>R1目標実績</th> <th>R2目標実績</th> <th>R3目標実績</th> <th>R4目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がん手術件数</td> <td>448例</td> <td>475例 490例</td> <td>488例 427例</td> <td>502例 424例</td> <td>515例</td> </tr> <tr> <td>化学療法件数</td> <td>2,032例</td> <td>2,159例 2,725例</td> <td>2,159例 2,357例</td> <td>2,159例 2,259例</td> <td>2,159例</td> </tr> <tr> <td>放射線治療件数</td> <td>134例</td> <td>135例 151例</td> <td>138例 154例</td> <td>139例 113例</td> <td>140例</td> </tr> </tbody> </table>	目標指標	H29実績	R1目標実績	R2目標実績	R3目標実績	R4目標	がん手術件数	448例	475例 490例	488例 427例	502例 424例	515例	化学療法件数	2,032例	2,159例 2,725例	2,159例 2,357例	2,159例 2,259例	2,159例	放射線治療件数	134例	135例 151例	138例 154例	139例 113例	140例			<p>化学療法や放射線治療など通院治療が増える中、患者負担軽減の観点からも身近な病院で治療を受けられるメリットは大きい。より患者から信頼され選ばれるためにも、「地域がん診療連携拠点病院」の再指定に向けた取り組みを進められたい。</p> <p>がんに関して総合的に対応できることが当院の強みであり、緩和ケアや在宅看取りなどに関する目標設定も検討されたい。</p>
目標指標	平成29年度実績	令和4年度目標																																						
がん手術件数	448例	515例																																						
化学療法件数	2,032例	2,159例																																						
放射線治療件数	134例	140例																																						
目標指標	H29実績	R1目標実績	R2目標実績	R3目標実績	R4目標																																			
がん手術件数	448例	475例 490例	488例 427例	502例 424例	515例																																			
化学療法件数	2,032例	2,159例 2,725例	2,159例 2,357例	2,159例 2,259例	2,159例																																			
放射線治療件数	134例	135例 151例	138例 154例	139例 113例	140例																																			
<p>Ⅱ. 脳卒中</p> <p>当院では出血性病変は脳神経外科、梗塞性病変は脳神経内科が担当して治療に当たっている。機能障害が遺れば、回復期リハビリテーション病棟や地域包括ケア病棟で集中的な機能回復リハビリテーションを実施している。この予後の良否が治療</p>	<p>Ⅱ. 脳卒中</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評価結果</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>主な実績等</u></p> <p>・一次脳卒中センターとして、脳卒中専門病床（SU 病床）8床を設置し、滋賀医科大学医学部附属病院等と連携して迅速に診断・治療を行うとともに、多職種の関与により二次的合併症予防、機能障害の回復に向けてのサポートや退院支援につなげた。</p>	年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価結果	3	3	3	(3)	(3)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>一次脳卒中センターを設置し、迅速な診断・治療を行うとともに、多職種の関与により二次的合併症予防、機能障害の回復に向けてのサポートや退院支援につなげたこ</p>	元年度	2年度	3年度	3	3	3																						
年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度																																					
評価結果	3	3	3																																					
元年度	2年度	3年度																																						
3	3	3																																						

中期計画	法人自己評価	評価	評価	設立団体の評価														
<p>開始までの所要時間に依存することから、フルタイムでの専門医当直体制が望まれているが、人的資源の不足から実現は困難となっている。当直医の協力によって部分的にはカバーされているが、今後の脳卒中救急では夜間休日においても即座に対応できる体制が必要と考えられており、人的資源の有効活用の面から広域医療圏の設定が考慮されている。今後、それに基づいた当院の役割が示されることになり、それに伴って見直しを進めていく。</p>	<p>・回復期リハビリテーション病棟や地域包括ケア病棟で集中的な機能回復リハビリテーションを実施し、早期離床・早期回復に取り組んだ。</p> <p><u>評価等</u></p> <p>・一次脳卒中センターを設置し、脳卒中患者の迅速な診断・治療を行うとともに、集中的なりハビリテーションを実施しており、計画通りである。</p> <p>・令和4年度からは脳神経外科医師の増員を行い、脳卒中救急の受入強化を図っており、滋賀県においてはブロック化の検討も始まっているが、当院としては今後も医師確保に努め、当圏域の医療ニーズに対応していく。</p>			<p>とは評価できる。</p> <p>県におけるブロック化の議論が進んでいない中、令和4年度に専門医の増員が実現し、診療体制の強化につながった。</p>														
<p>III. 心筋梗塞</p> <p>心筋梗塞に関しては少ない医師数でありながらも待機制をとり、夜間休日においても緊急心臓カテーテル検査と治療を可能にしている。心筋梗塞は迅速な診断と治療に加えて、早期からのリハビリテーションを行うことが肝要であり、心臓リハビリテーション室を設けて専任の理学療法士を配置し実施している。早期の社会復帰を目指す努力を続けていく。</p>	<p>III. 心筋梗塞</p> <table border="1" data-bbox="651 866 1335 940"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評価結果</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>主な実績等</u></p> <p>・急性心筋梗塞に対する緊急カテーテル手術については24時間365日に対応を行った。令和3年度からは循環器内科医の増員により、当院に搬送された心筋梗塞ケースは大学病院などの高次医療機関へ転送することなく、当院での治療で完結できた。</p> <p>・カテーテル手術後は、多職種がチームとなって、早い段階から介入し、早期退院と社会復帰を目指す努力を行った。</p> <p><u>評価等</u></p> <p>・緊急カテーテル手術については24時間365日体制を維持するとともに、心臓リハビリテーションによる社会復帰支援の努力を続けており計画通りである。令和3年度からは、循環器内科医</p>	年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価結果	3	2	5	(3)	(3)	<table border="1" data-bbox="1624 866 1966 940"> <thead> <tr> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>2</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>緊急カテーテル手術の24時間体制や、心臓リハビリテーションによる社会復帰支援の取り組みは計画通りである。</p> <p>令和3年度の循環器内科医師増員により、高次救急にも対応できるようになったことは非常に評価できる。</p> <p>退院後の社会復帰における地域と</p>	元年度	2年度	3年度	3	2	4
年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度															
評価結果	3	2	5															
元年度	2年度	3年度																
3	2	4																

中期計画	法人自己評価	評価	評価	設立団体の評価																		
	<p>の増員により高次救急への対応が可能となった。</p> <table border="1" data-bbox="636 347 1406 730"> <thead> <tr> <th>目標指標</th> <th>H29 実績</th> <th>R1 目標 実績</th> <th>R2 目標 実績</th> <th>R3 目標 実績</th> <th>R4 目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>心臓カテーテル手術件数</td> <td>— 118例</td> <td>100例 116例</td> <td>100例 77例</td> <td>100例 154例</td> <td>100例</td> </tr> <tr> <td>心血管リハビリテーション単位数</td> <td>— 3,358例</td> <td>3,400例 5,340例</td> <td>4,700例 3,994例</td> <td>4,700例 5,127例</td> <td>4,700例</td> </tr> </tbody> </table>	目標指標	H29 実績	R1 目標 実績	R2 目標 実績	R3 目標 実績	R4 目標	心臓カテーテル手術件数	— 118例	100例 116例	100例 77例	100例 154例	100例	心血管リハビリテーション単位数	— 3,358例	3,400例 5,340例	4,700例 3,994例	4,700例 5,127例	4,700例			<p>の繋ぎ役として、多職種チームの活躍を期待したい。</p>
目標指標	H29 実績	R1 目標 実績	R2 目標 実績	R3 目標 実績	R4 目標																	
心臓カテーテル手術件数	— 118例	100例 116例	100例 77例	100例 154例	100例																	
心血管リハビリテーション単位数	— 3,358例	3,400例 5,340例	4,700例 3,994例	4,700例 5,127例	4,700例																	
<p>IV. 糖尿病 患者数は増加の一途を辿っている。患者数の著しい増加は、患者の治療意欲を高めるような丁寧で時間をかけた診察を困難とする。従って、当院で治療の方向づけを行い、近隣の診療所で治療を継続し、適時当院を受診して治療の継続または変更の必要性を判断するシステムを拡大して行く。また、糖尿病性腎症など合併症を生じさせないという目標に向かった治療を推し進めていく。</p>	<p>IV. 糖尿病</p> <table border="1" data-bbox="651 767 1335 842"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評価結果</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>主な実績等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・かかりつけ医(病院・診療所)との紹介・逆紹介の推進により機能分担を図りながら、多職種による教育入院等の専門的な医療を行った。また、糖尿病透析予防外来は、コロナ禍の中でも継続して行った。 <p><u>評価等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において、糖尿病教育入院患者数は目標に達しなかったが、紹介・逆紹介患者数は増加しており、計画通りである。今後も更なる機能分担を進めていく。 	年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価結果	3	2	3	(3)	(3)	<table border="1" data-bbox="1624 762 1966 837"> <thead> <tr> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>かかりつけ医での治療を基本とした機能分化は進んできており、今後とも「紹介率・逆紹介率」の目標数値の達成に努められたい。</p> <p>糖尿病性腎症対策においては、透析導入ケースを減らすべく、行政との協力体制や、病診連携が確立している。</p>	元年度	2年度	3年度	3	2	3				
年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度																			
評価結果	3	2	3																			
元年度	2年度	3年度																				
3	2	3																				

中期計画	法人自己評価						評価	評価	設立団体の評価																
	目標指標	H29 実績	R1 目標 実績	R2 目標 実績	R3 目標 実績	R4 目標																			
	糖尿病教 育入院患 者数	— 96例	100例 80例	100例 80例	100例 88例	100例																			
<p>V. 精神疾患及び認知症</p> <p>近隣に精神科専門病院があることから、精神科外来を常時開いて診療に当たる必要性は少ないと考えている。しかし、緩和ケア病棟や一般病棟入院患者の精神的ケアが必要となるケースが少なくないため、非常勤医師による院内を中心とした診療を継続していく。</p> <p>なお、認知症患者については、認知症看護認定看護師を中心としたサポートチームが横断的に、入院患者についてケアを行い、また甲賀保健所及び両市の政策に協力し、急性増悪時には精神科病院と連携し地域の中での役割を担っていく。</p>	<p>V. 精神疾患及び認知症</p> <table border="1" data-bbox="656 560 1335 632"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評価結果</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>主な実績等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・滋賀医科大学医学部附属病院及び水口病院との連携のもと、週1回外来診療や精神的ケアを必要とする入院患者や認知症入院患者などを中心とした治療・ケアを実施した。 ・認知症看護認定看護師が、地域医療従事者への研修会等に講師として参加し、人材育成に貢献した。 <p><u>評価等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症看護認定看護師を中心としたサポートチームが、入院患者への精神的ケア及び地域で活動しており、計画を上回っている。今後も活動を推進していく。 						年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価結果	4	4	4	(4)	(3)	<table border="1" data-bbox="1626 555 1966 627"> <thead> <tr> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>「入院患者に対する精神的ケアを中心とした診療を継続する」との中期目標は計画通り実施されている。</p> <p>認知症看護認定看護師を中心としたサポートチームによる地域貢献活動を評価する。</p> <p>認知症や精神疾患を併せ持つ患者の専門科受診が難しいケースは少なくない。他疾患での入院を機に、専門科への受診や適切な医療につながることを期待する。</p>			元年度	2年度	3年度	3	4	3
年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度																						
評価結果	4	4	4																						
元年度	2年度	3年度																							
3	4	3																							

住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するため取るべき措置

1. 公立病院として担うべき医療

(2)5 事業に対する医療の確保

中期目標	<ul style="list-style-type: none"> 救急医療については、甲賀保健医療圏内の救急医療の中心的役割を担い、滋賀医科大学医学部附属病院等の高次医療機関及び圏内の救急告示3病院との連携、役割分担のもとに救急患者の積極的な受け入れにより救急搬送受入件数を向上させること。また、医療圏内の救急救命士の養成や資質向上のため教育活動にも協力すること。 災害拠点病院については、救急連絡体制の確保や災害訓練の実施等、災害発生時に迅速な対応ができる体制を整備し、災害発生時には行政等と連携して医療救護活動を行うなど、災害対策などに協力すること。 周産期医療については、近隣の産科医療機関では対応困難なリスクのある妊婦を積極的に受け入れ、ハイリスクにおいては滋賀医科大学医学部附属病院と連携する体制を今後も継続すること。優れた産科医師と助産師の確保にも努めていくこと。 小児医療については、県の策定する小児医療政策全体の枠組みの中で、他医療圏域とも協力して小児救急医療体制の充実強化を図り、3次医療機関や専門医療機関と連携の上、小児医療を提供すること。
------	--

【中期計画】	法人自己評価	評価	評価	設立団体の評価														
(2)5 事業に対する医療の確保 I. 救急医療 甲賀保健医療圏の中核病院として救急医療の中心的役割を担い、圏内の救急告示病院との連携、役割分担のもとに24時間365日救急患者の積極的な受け入れを行っていく。また、当院は2次救急病院であるため、両市に	(2)5 事業に対する医療の確保 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> <tr> <td>評価結果</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> </table>	年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価結果	4	3	4	4	3	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> </tr> <tr> <td>4</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </table>	元年度	2年度	3年度	4	3	3
	年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度														
評価結果	4	3	4															
元年度	2年度	3年度																
4	3	3																
	I. 救急医療 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> <tr> <td>評価結果</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </table> 主な実績等 ・24時間365日、圏内の救急告示病院及び滋賀医科大学医学部附属病院などの高次医療機関との連携、役割分担のもとに「断らない救急」を推進した。 ・甲賀広域行政組合消防本部と連携し、圏内の救急救命	年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価結果	4	4	4	(4)	(4)	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> </table> 期間中に受入率が著しく向上したことは評価できる。	元年度	2年度	3年度	4	4	3
年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度															
評価結果	4	4	4															
元年度	2年度	3年度																
4	4	3																

【中期計画】			法人自己評価					評価	評価	設立団体の評価														
休日急患診療所の設立を要望しながら、一方で滋賀医科大学医学部附属病院、救命救急センター等、高次救急病院との連携が非常に重要であることを踏まえ、重症患者の救命のための協体制を維持していく。また、圏域内の救急救命士の養成や資質向上のため教育活動にも力を注いでいく。			士の養成や資質向上のための教育活動に取り組んだ。 <u>評価等</u> ・コロナ禍においても「断らない救急」方針のもと、救急体制整備及び職員の意識改革により、救急受入率は 99%台まで向上し、計画を上回っている。今後は、救急応需率の向上を目指していく。							「断らない救急」を掲げる以上、受入率 100%に限りなく近づける努力を続けていただきたい。応需率の向上にも期待する。														
目標指標	平成 29 年度実績	令和 4 年度目標	目標指標	H29 実績	R1 目標実績	R2 目標実績	R3 目標実績	R4 目標実績																
救急搬送受入率	90.1%	97.0%	救急搬送受入率	— 90.1%	93.1% 97.2%	94.1% 97.5%	96.1% 99.4%	97.0%																
II. 災害拠点病院 免震・耐震建築を施された当院は、災害拠点病院としての役割を委ねられており、救急連絡体制の確保や災害訓練の実施などを重ねることで、災害発生時に迅速な対応が出来るような体制の整備に努めている。災害発生時には滋賀県、両市及び関係機関と連携して、DMAT（災害派遣医療チーム）の派遣を含めた医療救護活動を行うなど、両市が実施する災害対策などに協力して行動していく。また、BCP（事業継続計画）に基づき、災			II. 災害拠点病院 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和 2 年度</th> <th>令和 3 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評価結果</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <u>主な実績等</u> ・災害拠点病院として大規模災害に備えるため、部門横断的かつ自律的に活動する災害対応作業部会を設置し、救急連絡体制の確保、災害訓練の実施、BCP（事業継続計画）の継続的な見直しなどに取り組んだ。 ・DMAT の活動として、令和 2 年 7 月の熊本豪雨の際には、滋賀県からの要請を受け被災地において支援活動を行った。また、新型コロナウイルス感染患者対応のため設置された滋賀県 COVID-19 災害コントロールセンターへ令和 2 年 4 月以降、継続して DMAT 隊員が月間 12 回程度、出役し業務を担った。					年 度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	評価結果	4	3	4	(4)	(3)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>元年度</th> <th>2 年度</th> <th>3 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> 令和 2 年度の熊本豪雨災害や、COVID-19 災害コントロールセンターの運営に DMAT を派遣し、災害医療に貢献している。 両市の防災・医療担当部局との連携を図り、当地域での災害発生に備えた体制整備や訓練を実施されたい。	元年度	2 年度	3 年度	3	3	4
年 度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度																					
評価結果	4	3	4																					
元年度	2 年度	3 年度																						
3	3	4																						
			<u>評価等</u>																					

【中期計画】	法人自己評価	評価	評価	設立団体の評価																		
<p>害時における事業継続・早期復旧が可能となる体制を継続するとともに、滋賀県、両市、関係機関及び協定企業等との連携強化に努める。</p> <table border="1" data-bbox="217 483 604 695"> <thead> <tr> <th>参考指標</th> <th>平成 29 年度実績</th> <th>令和 4 年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>災害訓練実施回数</td> <td>2 回</td> <td>2 回</td> </tr> </tbody> </table>	参考指標	平成 29 年度実績	令和 4 年度目標	災害訓練実施回数	2 回	2 回	<p>・災害拠点病院として、大規模災害に備え災害対応作業部会を中心に院内災害訓練等を実施するとともに、DMAT が県からの要請により被災地支援や新型コロナ災害コントロールセンターでの活動を行い、計画を上回っている。</p> <table border="1" data-bbox="633 483 1330 700"> <thead> <tr> <th>参考指標</th> <th>H30 実績</th> <th>R1 目標実績</th> <th>R2 目標実績</th> <th>R3 目標実績</th> <th>R4 目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>災害訓練実施回数</td> <td>— 2 回</td> <td>2 回 2 回</td> <td>2 回 2 回</td> <td>2 回 2 回</td> <td>2 回</td> </tr> </tbody> </table>	参考指標	H30 実績	R1 目標実績	R2 目標実績	R3 目標実績	R4 目標	災害訓練実施回数	— 2 回	2 回 2 回	2 回 2 回	2 回 2 回	2 回			
参考指標	平成 29 年度実績	令和 4 年度目標																				
災害訓練実施回数	2 回	2 回																				
参考指標	H30 実績	R1 目標実績	R2 目標実績	R3 目標実績	R4 目標																	
災害訓練実施回数	— 2 回	2 回 2 回	2 回 2 回	2 回 2 回	2 回																	
<p>Ⅲ. 周産期医療 安全安心な分娩ができる環境をいつでも提供できるように、優秀な産科医師と助産師の確保に努めていく。近隣の産科医院では出産が困難でリスクのある妊婦に対しては積極的に受け入れていくが、ハイリスクな症例においては県の保健医療計画に則り滋賀医科大学医学部附属病院等の総合周産期母子医療センターと連携する体制を今後も続けていく。</p>	<p>Ⅲ. 周産期医療</p> <table border="1" data-bbox="651 831 1335 906"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和 2 年度</th> <th>令和 3 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評価結果</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>主な実績等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全安心な分娩ができる環境を提供できるよう近隣の産科医療機関との連携により、リスク症例を受け入れ、ハイリスク症例においては滋賀医科大学医学部附属病院等へ随時紹介を行った。 ・新型コロナ感染妊婦の受け入れ体制を整え、滋賀県 COVID-19 災害コントロールセンターとの連携により分娩症例を受け入れた。 <p><u>評価等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・産婦人科医師確保が困難な中、医師確保に努め医療体制を確保しており計画通りである。 ・滋賀県において周産期医療はブロック化されており、当院は周 	年 度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	評価結果	3	3	4	(3)	(3)	<table border="1" data-bbox="1632 826 1975 901"> <thead> <tr> <th>元年度</th> <th>2 年度</th> <th>3 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>令和 3 年度に産婦人科医師を増補し、必要な医療体制を維持できている。</p> <p>今後さらに医師確保が困難となるが、当圏域の産科医院や総合周産期母子医療センターと連携のもと、安全安心な分娩環境の維持を図りたい。</p> <p>就労している妊婦が受診しやすい環境整備にも期待したい。</p>	元年度	2 年度	3 年度	3	3	3				
年 度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度																			
評価結果	3	3	4																			
元年度	2 年度	3 年度																				
3	3	3																				

【中期計画】	法人自己評価	評価	評価	設立団体の評価														
	産期協力病院として近隣の産科医院では困難なリスク症例に対応するなど、当圏域のニーズに応じた医療体制を整えていく。																	
<p>IV. 小児医療</p> <p>医療の専門分化が進む中で、他科の医師が小児救急に介入する余地が激減し、小児科医がその全てを担わなければならない時代に来ている。このため、県内における当院を含めた小児科医の乏しい病院では、単独で夜間休日の小児救急を担っていくことが難しくなっている。このため、県の保健医療計画において、湖南保健医療圏と甲賀保健医療圏を湖南・甲賀小児救急医療ブロックとして、広域の救急医療圏を設定し各圏域内の小児科医が協力して行く体制が模索されている。当院は広域医療圏の小児救急医療体制が整うまでは、土日祝日の小児救急外来を圏域内小児科医の協力を得ながら継続し、夜間は待機制をとって小児救急に対応する現状の体制を維持していく。</p>	<p>IV. 小児医療</p> <table border="1" data-bbox="656 451 1335 523"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評価結果</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>主な実績等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 小児科医師確保が困難となる中、地域の医療機関、基幹小児救急医療機関と連携しながら、地域の一次、二次小児医療を担当した。平日昼間の救急車搬送に加え、夜間においては、内科当直医師の協力の下、開業医紹介症例、救急車来院症例、精査を要する症例に対応した。土日祝日（9時から18時）の小児救急医療は、地域の医師、京都大学医学部附属病院・滋賀医科大学医学部附属病院からの派遣医師の応援を得て、維持出来た。 <p><u>評価等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 小児科医師確保が困難な中、小児科医が減少したが、京都大学医学部附属病院・滋賀医科大学医学部附属病院の協力を得て、医療体制を継続しており、計画通りである。 滋賀県においては、令和3年度から湖南圏域と甲賀圏域において小児救急のブロック化が開始された。当院としては、今後も小児科医師確保に努め、従来の受け入れ体制を確保し、当圏域の医療ニーズに対応していく。 	年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価結果	3	3	3	(3)	(3)	<table border="1" data-bbox="1635 446 1977 518"> <thead> <tr> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>期間中に常勤医1名体制の状況が生じたが、従来通りの受け入れ体制が維持された。</p> <p>圏域において、当院小児科は1次・2次救急ともに重要な役割を担っており、小児科医師の安定的な確保が課題である。</p>	元年度	2年度	3年度	4	3	3
年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度															
評価結果	3	3	3															
元年度	2年度	3年度																
4	3	3																

2. 地域の医療機関・介護施設等との機能分化・連携強化

中期目標	<ul style="list-style-type: none"> ・両市との連携については、両市が進める各種政策に位置付けられる役割を果たすことで、圏域内における保健・福祉・医療・介護の充実に貢献すること。両市の専門職に対して研修の機会を提供するなど圏域内の保健福祉機能の充実に貢献すること。 ・地域医療支援病院としての役割については、圏域内の医療機関との間で患者の紹介・逆紹介を進め、かかりつけ医等を支援することで、地域連携を推進し、外来医療の効率化と機能分化を推進していくこと。高度医療機器の共同利用、開放型病床の利用、地域医療の医療従事者向けの研修会の開催により地域医療の一体化、地域医療の質の向上にも貢献していくこと。 ・地域医療構想を見据えた医療提供体制については、圏域内の救急医療の中心的役割を果たすため、必要な急性期病床数を維持するとともに、圏域内はもとより圏域外を含めた病院との連携で後方病床を確保していくこと。 ・地域包括ケアシステムの推進では、地域の医師会や多職種との連携を軸に、訪問診療・訪問看護・訪問リハビリテーション等を市民に提供し、在宅医療をさらに推進することで地域包括ケアを実践すること。研修会などを通じて医療・介護関係者への支援活動を行うこと等により、地域包括ケアシステムの一層の推進を図ること。 ・感染症医療については、保健所、両市及び第一種感染症指定医療機関と連携し、第二種感染症指定医療機関としての役割を果たすこと。 ・関係機関との連携については、医師会、歯科医師会、薬剤師会、介護施設等との連携をこれまで以上に深めていくこと。
------	---

中期計画	法人自己評価	評価	評価	設立団体の評価														
(1)両市との連携 特定健診、予防接種への医師派遣及び歯科検診への歯科医師派遣等により、両市の保健衛生事業の実施等に対し協力をしていく。当院の運営や経営の状況についても随時両市へ情報を提供し、両市と一体となって地域医療を担っていく。また、両市	(1)両市との連携 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>年 度</td> <td>令和元年度</td> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> </tr> <tr> <td>評価結果</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> </table>	年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価結果	4	3	4	4	3	<table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>元年度</td> <td>2年度</td> <td>3年度</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> </table>	元年度	2年度	3年度	3	3	4
	年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度														
評価結果	4	3	4															
元年度	2年度	3年度																
3	3	4																
	主な実績等 <ul style="list-style-type: none"> ・両市の国民健康保険被保険者等に対する特定健診または健康診査、両市からの委託を受けた各種がん検診等を実施し、健康づくりに貢献した。 ・両市の実施する乳幼児健診に、医師または歯科医師を派遣し 			乳幼児健診等への医師派遣、新型コロナウイルスワクチン接種事業への医師・看護師派遣は評価できる。 今後さらに増加が予想される困難														

中期計画	法人自己評価	評価	評価	設立団体の評価														
<p>の医療・介護・福祉の専門職等に対して研修の機会を提供するなど医療圏内の保健福祉機能の充実に貢献していく。</p>	<p>た。さらに、新型コロナワクチン接種事業にも医師・看護師を派遣し、保健衛生事業に協力した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両市健康福祉部及び病院組合事務局との月例会に当院も出席し、病院経営の状況についての情報提供を行った。 <p><u>評価等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・両市民に対する特定健診やがん検診等の実施、新型コロナワクチン接種事業への医師・看護師派遣、両市専門職に対する研修機会の提供等を実施しており、計画を上回っている。 ・今後も両市民の健康づくりに貢献するとともに、両市の医療・介護・福祉の専門職等に対して研修の機会を提供する等、医療圏内の保健福祉機能の充実に貢献していく。 			<p>事例への対応など、両市との連携強化に努められたい。</p>														
<p>(2) 地域医療支援病院としての役割</p> <p>地域医療支援病院として、地域医療の向上に努めるとともに、地域連携を推進していく。診療所との紹介・逆紹介を推進することで連携を深め、入院治療や専門的医療及び特殊な検査を必要としない患者を地域へ委ねていくことで、地域における医療の効率化と分化を推進していく。</p> <p>また、予約システムを活用した高度医療機器の共同利用や開放型病床の利用などを通じて、地域の一体化にも努めていく。また、甲賀保健所や甲賀湖南医師会等と協力して地域医療従事</p>	<p>(2) 地域医療支援病院としての役割</p> <table border="1" data-bbox="654 762 1335 836"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評価結果</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>主な実績等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療支援病院として、地域かかりつけ医との役割分担のもと専門的医療を充実させるとともに、開放型病床の活用により地域連携を推進した。 ・定期的に地域医療連携委員会を開催し、紹介率・逆紹介率、救急患者数、地域医療従事者向けの研修会実績等の報告に加え地域の課題等について意見交換を行い、地域医療連携の推進を図った。 ・予約システムを用いた高度医療機器の共同利用により地域における医療の効率化を推進した。 <p><u>評価等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において地域医療機関向け研修の実施回数が目標数値を下回ったが、紹介率、逆紹介率は目標数値を達成し、計画通 	年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価結果	3	3	3	3	2	<table border="1" data-bbox="1637 762 1973 836"> <thead> <tr> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>紹介・逆紹介率は概ね計画通り。</p> <p>コロナ禍ではあるが、開放型病床の利用実績が乏しければ地域医療連携の推進を図ったとは評価し難い。</p> <p>研修の開催方法を工夫し、地域医療の質向上に努められたい。</p>	元年度	2年度	3年度	3	2	2
年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度															
評価結果	3	3	3															
元年度	2年度	3年度																
3	2	2																

中期計画	法人自己評価					評価	評価	設立団体の評価																																				
<p>者向けの研修会を開催し、地域の医療の質向上にも貢献していく。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標指標</th> <th>平成29年度実績</th> <th>令和4年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>74.3%</td> <td>90%</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>68.8%</td> <td>75%</td> </tr> <tr> <td>地域医療機関向け研修実施回数</td> <td>36回</td> <td>40回</td> </tr> </tbody> </table>	目標指標	平成29年度実績	令和4年度目標	紹介率	74.3%	90%	逆紹介率	68.8%	75%	地域医療機関向け研修実施回数	36回	40回	<p>りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後は、オンライン研修を積極的に取り入れ、地域医療の質向上に貢献していく。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標指標</th> <th>H29実績</th> <th>R1目標実績</th> <th>R2目標実績</th> <th>R3目標実績</th> <th>R4目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>74.3%</td> <td>83.3% 83.8%</td> <td>85.3% 89.8%</td> <td>88.3% 84.5%</td> <td>90.0%</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>68.8%</td> <td>70.1% 70.9%</td> <td>72.1% 85.9%</td> <td>73.1% 86.6%</td> <td>75.0%</td> </tr> <tr> <td>地域医療機関向け研修実施回数</td> <td>36回</td> <td>38回 22回</td> <td>39回 1回</td> <td>40回 12回</td> <td>40回</td> </tr> </tbody> </table>					目標指標	H29実績	R1目標実績	R2目標実績	R3目標実績	R4目標	紹介率	74.3%	83.3% 83.8%	85.3% 89.8%	88.3% 84.5%	90.0%	逆紹介率	68.8%	70.1% 70.9%	72.1% 85.9%	73.1% 86.6%	75.0%	地域医療機関向け研修実施回数	36回	38回 22回	39回 1回	40回 12回	40回			
目標指標	平成29年度実績	令和4年度目標																																										
紹介率	74.3%	90%																																										
逆紹介率	68.8%	75%																																										
地域医療機関向け研修実施回数	36回	40回																																										
目標指標	H29実績	R1目標実績	R2目標実績	R3目標実績	R4目標																																							
紹介率	74.3%	83.3% 83.8%	85.3% 89.8%	88.3% 84.5%	90.0%																																							
逆紹介率	68.8%	70.1% 70.9%	72.1% 85.9%	73.1% 86.6%	75.0%																																							
地域医療機関向け研修実施回数	36回	38回 22回	39回 1回	40回 12回	40回																																							
<p>(3) 地域医療構想を見据えた医療提供体制について</p> <p>当院は、ICU病床を含めた急性期一般病床と回復期リハビリ病床、地域包括ケア病床、緩和ケア病床を有している。制度上、地域包括ケア病床を増やせないことから、現在の病床編成を維持する方針である。当院はこの圏域の救急医療の中心的役割を果たさなければならず、空床確保も重要であり、現在の急性期病床数を維持する必要性は高い。</p> <p>しかしながら、当院は特定の後方病院を有しないため入院患</p>	<p>(3) 地域医療構想を見据えた医療提供体制について</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評価結果</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>主な実績等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和元年 5 月から看護師不足による夜勤負担軽減のため、急性期病棟（48 床）を休床し、勤務環境を改善した。 ・ 令和 2 年度以降は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に応じて、滋賀県からの要請により感染病床の確保が必要となり、26 床増床している。一方、感染病床増床のための看護師の応援体制が必要となり、回復期の病床 52 床の休床を余儀なくされ、稼働病床数が減少した。 ・ 許可病床 413 床に対して 3 月末の稼働病床数は、339 床で運用を行っている。 					年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価結果	3	3	3	3	3	<table border="1"> <thead> <tr> <th>元年度</th> <th>2 年度</th> <th>3 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>地域の中核病院として、コロナ禍においても救急・高度医療は堅持できている。</p> <p>稼働病床の減少は、コロナ以前から続く看護師不足の要因も大きい。休床が長引くことで、病院経営のみならず、患者・家族への影響も大きくなる。</p> <p>地域医療構想を踏まえ、コロナ後の医療提供体制の検討と合わせ、</p>	元年度	2 年度	3 年度	3	3	2																						
年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度																																									
評価結果	3	3	3																																									
元年度	2 年度	3 年度																																										
3	3	2																																										

中期計画	法人自己評価	評価	評価	設立団体の評価														
<p>者の退院調整に苦慮することが少なくない。圏内はもとより圏域外を含めた病院との連携で後方病床を確保していく。</p>	<p><u>評価等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ病床確保のため稼働病床が減少したが、効率的なベッドコントロールと後方病院との連携により、急性期医療と感染症医療の両立を果たし、地域中核病院としての責任を果たすことが出来ており、計画通りである。 ・今後は、新型コロナ感染症終息後を見据えた医療提供体制において、令和元年5月に休床した48床の活用策を検討していく必要がある。 			<p>休床病床の解消に向けた対策を早期に講じる必要がある。</p>														
<p>(4)地域包括ケアシステムの推進 両市が構築する地域包括ケアシステムを推進させるために、住まい・医療・介護・予防・生活支援を一体として提供するとともに、地域の医師会や多職種との連携を軸に、訪問診療・訪問看護・訪問リハビリテーション等を市民に提供していく。また、在宅医療への移行が円滑に進むように、地域の医療関係者との連携を深める。地域医療連携では、入退院支援センターへの人材投入により更に業務を拡大し、入院前から適切な退院支援を見据えた対応をすることで、患者にとって安全安心な医療の提供、円滑な退院を実現するために、両市の地域包括支援センターや在宅医療推進センターとの連携を進める。また、在宅や施設利用者の急変増悪時の</p>	<p>(4)地域包括ケアシステムの推進</p> <table border="1" data-bbox="656 624 1335 699"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評価結果</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>主な実績等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当圏域の地域包括ケアシステム推進のため、地域の医療・介護・福祉機関等と連携し、急性期・回復期・終末期医療に加え、訪問診療、訪問看護、訪問リハビリテーション等のケアミックス型医療を提供した。 ・在院日数の短縮化や退院困難事例が増加する中で、入退院支援センターを開設し、入院時から入院患者の在宅等への退院後を見据えることで、安心して入院して頂けるように、多職種が連携している。また両市の地域包括支援センターや在宅医療推進センター等の院外施設とも連携し、入院時からの介入に向けた支援を強化した。 <p><u>評価等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・入退院支援センターが完成したことにより入退院支援件数が増加し、入院患者にとって退院後を見据えた安全安心な医療提供に繋がっている。 ・訪問看護・訪問リハビリは、コロナ禍においても感染対策と効 	年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価結果	3	4	4	4	3	<table border="1" data-bbox="1637 619 1977 694"> <thead> <tr> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>患者・家族の利便性向上や、地域連携の強化に資する入退院支援センターが開設され、支援件数も増加している。</p> <p>困難事例の対応に関して、組織内の対応力を高めるとともに、両市の担当部署との連携強化により、地域での住まいや暮らしまでを見据えた支援を期待したい。</p>	元年度	2年度	3年度	3	4	3
年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度															
評価結果	3	4	4															
元年度	2年度	3年度																
3	4	3																

中期計画	法人自己評価	評価	評価	設立団体の評価														
受入体制を整備する。さらに、地域の医療・介護関係者が気軽に立ち寄ることができる場の提供や公開研修会の開催等を進め、地域コミュニティの場としての役割を果たしていく。	果的な情報提供により利用件数が増加し、また新型コロナに関するハブステーションとして役割を果たし、訪問診療による看取りにも対応するなど、計画を上回っている。																	
(5)感染症医療 保健所、両市及び第一種感染症指定医療機関と連携し、第二種感染症指定医療機関としての役割を果たす。感染制御部を軸に、広域対応が必要な感染症の発生時には、行政との連携強化を図りながら、万全の体制を構築し、感染被害拡大の防止に努める。	(5)感染症医療 <table border="1" data-bbox="654 555 1335 628"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評価結果</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>主な実績等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 甲賀保健医療圏域の第二種感染症指定医療機関として、病院組織全体で院内感染防止対策の強化を図りながら発熱外来や滋賀県新型コロナ災害コントロールセンターとの連携による新型コロナウイルス感染症患者の入院受入、甲賀・湖南医師会との協働による PCR 検査センターの運営等により、地域の感染症医療に貢献した。 感染管理認定看護師が、地域の介護福祉施設等に対して、新型コロナ感染対策、ゾーニング指導等の相談に対応した。 <p><u>評価等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染患者への対応により、地域に貢献したことを評価し、計画を上回っている。 今後も院内感染防止対策の強化を図りながら、感染症医療と急性期医療の両立を図っていく。 	年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価結果	3	4	5	4	4	<table border="1" data-bbox="1632 549 1977 622"> <thead> <tr> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>第二種感染症指定医療機関として、新型コロナ患者への対応をはじめ、県コントロールセンターへの職員派遣、PCR 検査センターの運営など、圏域内の役割を果たしたことを評価する。 従事者には敬意と感謝の意を表したい。</p> <p>また、感染管理認定看護師が、介護福祉施設等に対して、感染対策やゾーニング指導等の相談に応じるなど、地域貢献も評価できる。</p> <p>引き続き院内感染防止対策を強化しつつ、感染症医療の充実に取り組まれない。</p>	元年度	2年度	3年度	4	4	5
年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度															
評価結果	3	4	5															
元年度	2年度	3年度																
4	4	5																
(6)関係機関との連携 地域医療連携推進特別委員会、開放型病床運営委員会等の	(6)関係機関との連携 <table border="1" data-bbox="654 1283 1335 1356"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評価結果</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価結果	3	3	3	3	3	<table border="1" data-bbox="1632 1276 1977 1350"> <thead> <tr> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	元年度	2年度	3年度	2	3	3
年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度															
評価結果	3	3	3															
元年度	2年度	3年度																
2	3	3																

中期計画	法人自己評価	評価	評価	設立団体の評価
<p>開催を通じて医師会、歯科医師会、薬剤師会、介護福祉施設等との連携もこれまで以上に深めていく。</p>	<p><u>主な実績等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に地域医療連携委員会を開催し、紹介率・逆紹介率、救急患者数、地域医療従事者向けの研修会実績などの報告に加え地域の課題等について意見交換を行い、地域医療連携の推進を図った。 ・定期的に開放型病床運営委員会を開催し、開放型病床運営の課題等について意見交換を行った。 <p><u>評価等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療連携委員会等の定期的な開催により地域医療連携の推進を図っており、計画通りである。 ・新型コロナウイルス感染拡大により開放型病床の利用が大幅に減少しているため、開放型病床の利用促進に努めていく。 			<p>定期的な会議のほか、訪問を随時行うなど、地域医療関係者及び介護福祉施設等との連携を深められたい。</p> <p>地域医療連携委員会等の動きについても公表願いたい。</p>

3. 医療の質の向上

<p>中期目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・安全安心な医療の提供では、医療事故・インシデント情報を速やかに収集、分析し、院内に周知すること。定期的に研修会を開催し、安全な医療提供に努めること。 ・院内感染防止対策については、院内感染の発生動向を常時監視し、感染拡大の防止に努めること。又、研修会を定期的に開催し、職員の感染制御への意識向上に努めること。 ・医療情報データの集積と分析及び活用については、DPC などの診療データから患者情報を集積・分析し、医療の質と効率性を評価していくこと。 ・予防医療の充実については、特定健診、各種がん検診、予防接種、人間ドック等の疾病予防活動を行い、市民の健康維持に貢献すること。
-------------	---

中期計画	法人自己評価	評価	評価	設立団体の評価														
<p>(1)安全安心な医療の提供 医療安全管理者を常時配置し、当院職員が関係する医療事故・インシデント情報を速やかに収集して分析を行っている。その内容は医療安全管理委員会に報告し、再発防止に向けた対策を議論している。その結果を院内に周知するとともに、法令や施設基準等規則で定める研修及び当院が自主的に実施する医療安全にかかる研修会を定期的 に開催して、医療安全の意識向上に引き続き努める。また、地域の医療機関と医療安全相互チェックを行い、地域全体の医療安全機能の向上に努める。</p>	<p>(1) 安全安心な医療の提供</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評価結果</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>主な実績等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 医療事故・インシデント情報を速やかに収集、分析し、再発防止に向けた取り組みを進めるとともに、定期的に研修会を開催し、安全安心な医療提供に努めた。 地域の医療機関等との相互チェック等により、地域全体の医療安全機能の向上に貢献した。 <p><u>評価等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 医療事故・インシデント情報の収集、分析、再発防止の取り組み、研修会の開催、地域の医療機関等との相互チェック等が実施できており、計画通りである。 今後も引き続き、自院のみならず地域全体の医療安全機能向上に貢献していく。 	年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価結果	3	3	3	3	3	<table border="1"> <thead> <tr> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>医療事故・インシデント情報等は、地域の医療機関だけでなく、より広く公開してシビアに評価されるべきと考える。</p> <p>安全に対する院内の取り組み状況を分かりやすく発信することで、患者・市民に安心を提供いただきたい。</p>	元年度	2年度	3年度	4	3	3
年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度															
評価結果	3	3	3															
元年度	2年度	3年度																
4	3	3																
<p>(2)院内感染防止対策について 専従認定看護師を含む感染制御チームを配置して院内の感染発生动向を常時追跡調査している。その結果を基に、院長も参加する院内感染対策委員会を定期的に開催して、必要な対策を講じている。感染対策研修会を今後も定期的 に開催し、職員の意識向上に努める。また、滋賀医科大学医学部附属病院や地域の医療機関と感染対策相互チェ</p>	<p>(2) 院内感染防止対策について</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評価結果</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>主な実績等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナ感染拡大時には感染制御部を中心に院内クラスターの経験を基にした感染の発生を未然に防止する取り組みを強化した。 感染対策研修会を定期的に開催し、職員の感染制御への意識向上に努めた。 定期的に地域の医療機関との感染対策相互チェックを実施し、地域全体の医療安全機能の向上に努めた。 	年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価結果	3	3	4	3	3	<table border="1"> <thead> <tr> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>2度にわたる新型コロナの院内クラスター発生を経験したが、その検証結果と教訓を踏まえ、院内の感染防止対策が強化されている。</p> <p>令和3年度に院内研修の実施回数が目標未達となっているが、「慣れ」や「緩み」が生じることのない</p>	元年度	2年度	3年度	4	2	3
年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度															
評価結果	3	3	4															
元年度	2年度	3年度																
4	2	3																

中期計画			法人自己評価						評価	評価	設立団体の評価														
<p>ックを行い、地域全体の医療安全機能の向上に努める。また、感染制御の専門的知識を有するICD（インフェクション・コントロール・ドクター）や感染管理認定看護師を更に養成していく。</p>			<p><u>評価等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症による2度の院内クラスターが発生するも、甲賀保健所の指導の下、発生動向を常時監視し、感染拡大の防止に努め、その後は、教訓を生かし感染防御を徹底することで、院内感染を防止している。また定期的に地域の医療機関との感染対策相互チェックを実施しており計画通りである。 ・今後も院内感染の発生を未然に防止する取り組みを強化するとともに、地域全体の医療安全機能向上に貢献していく。 								いよう、改めて研修計画を確認されたい。														
参考指標	平成29年度実績	令和4年度目標	目標指標	H29実績	R1目標実績	R2目標実績	R3目標実績	R4目標																	
感染対策研修実施回数	10回	10回	感染対策研修実施回数	10回	10回	10回	10回	10回																	
<p>3) 医療情報データの集積と分析及び活用 診療情報管理士を配置してDPCなどの診療データから患者情報を集積し、データ解析システムを用いて分析して医療の質と効率性を評価していく。これらの情報をもとに、診療報酬請求への活用や、医療の効率化に向けてのクリニカルパス整備の促進などにつなげていく。</p>			<p>(3) 医療情報データの集積と分析及び活用</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評価結果</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>主な実績等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・DPCなどの診療データを集積・分析し、医療の質と効率性を評価するとともに、病院経営の指標として活用し、ベッドコントロールの円滑化や収益向上につなげた。 ・クリニカルパス作成に積極的に取り組んだことにより、パス適用率が向上し、標準的・効率的な医療の提供につながっている。 <p><u>評価等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療情報データの集積・分析によるデータ活用及びクリニカルパスの適用率向上により、医療の質・効率性の向上のほか診療報酬請求にも活用できており計画通りである。 						年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価結果	3	3	4	3	3	<table border="1"> <thead> <tr> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>データを分析・活用できる人材の育成にも努められたい。</p> <p>「ベッドコントロールの円滑化や収益向上につなげた」とあるが、その実績を示されたい。</p>	元年度	2年度	3年度	3	3	3
年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度																						
評価結果	3	3	4																						
元年度	2年度	3年度																							
3	3	3																							

中期計画	法人自己評価	評価	評価	設立団体の評価																																
<p>(4) 予防医療の充実</p> <p>両市の各担当部署と連携して、市町村の健診を有効に受診できるよう、内視鏡健診、大腸CT 健診、特定健診、保健指導、各種がん検診、糖尿病指導、予防接種、人間ドック等の疾病予防活動を行い、地域のイベント等へも参加しつつ、市民の健康維持に貢献していく。</p>	<p>(4) 予防医療の充実</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評価結果</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>主な実績等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定健診、各種がん検診、予防接種、人間ドック等の予防医療の提供を行なうことにより、早期発見、早期治療に努め、市民の健康維持に貢献した。 <p><u>評価等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナの影響により、一時的に受診者数の減少はあったが、感染予防策を徹底し、受診者数は回復してきており、計画通りである。 ・今後も両市の各担当部局と連携し、両市民の健康維持に貢献して行く。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標指標</th> <th>H29 実績</th> <th>R1 目標 実績</th> <th>R2 目標 実績</th> <th>R3 目標 実績</th> <th>R4 目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人間ドック受診者数</td> <td>— 1,237人</td> <td>1,242人 1,336人</td> <td>1,245人 1,117人</td> <td>1,247人 1,301人</td> <td>1,250人</td> </tr> <tr> <td>その他健診受診者数</td> <td>— 6,837人</td> <td>6,862人 6,750人</td> <td>6,875人 6,378人</td> <td>6,887人 7,090人</td> <td>6,900人</td> </tr> </tbody> </table>	年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価結果	4	2	3	目標指標	H29 実績	R1 目標 実績	R2 目標 実績	R3 目標 実績	R4 目標	人間ドック受診者数	— 1,237人	1,242人 1,336人	1,245人 1,117人	1,247人 1,301人	1,250人	その他健診受診者数	— 6,837人	6,862人 6,750人	6,875人 6,378人	6,887人 7,090人	6,900人	3	3	<table border="1"> <thead> <tr> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>生活習慣病を中心としたデータの提供などを通じ、両市と連携した予防医療の啓蒙や充実に努めていきたい。</p>	元年度	2年度	3年度	3	2	3
	年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度																																
	評価結果	4	2	3																																
目標指標	H29 実績	R1 目標 実績	R2 目標 実績	R3 目標 実績	R4 目標																															
人間ドック受診者数	— 1,237人	1,242人 1,336人	1,245人 1,117人	1,247人 1,301人	1,250人																															
その他健診受診者数	— 6,837人	6,862人 6,750人	6,875人 6,378人	6,887人 7,090人	6,900人																															
元年度	2年度	3年度																																		
3	2	3																																		

4. 市民・患者サービスの向上

中期目標	<ul style="list-style-type: none"> ・患者中心の医療の提供では、病院理念に基づき、全ての患者の権利と人格を尊重した患者中心の医療を提供すること。患者自身が医療の内容を理解し、納得した上で自分に合った治療法を選択できるよう、十分な説明を行うと共に、セカンドオピニオン制度の有効活用を推進すること。 ・職員の接遇向上については、市民に選ばれ、市民が満足できる病院であるため、定期的に接遇に関する研修会を開催し、意識向上を図っていくこと。 ・健康長寿のまちづくりへの貢献については、健康教室などの開催を通じ、市民の健康増進に努めること。 ・積極的な広報と市民への情報提供については、医療サービスや運営状況について、各種媒体などを活用し、積極的に情報公開すること。
------	---

中期計画	法人自己評価	評価	評価	設立団体の評価														
(1) 患者中心の医療の提供 当院の掲げる理念に基づき、全ての患者の権利と人格を尊重した患者中心の医療を提供する。患者自身が医療の内容を理解し、納得した上で自分に合った治療法を選択できるよう、十分な説明を行う。医療従事者による説明および相談体制の充実、セカンドオピニオン制度の有効活用を推進していく。また、外国人医療のために医療通訳者を配置し、サービス向上を図っていく。	(1) 患者中心の医療の提供 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評価結果</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価結果	3	3	4	3	3	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	元年度	2年度	3年度	3	3	3
	年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度														
評価結果	3	3	4															
元年度	2年度	3年度																
3	3	3																
	<u>主な実績等</u> <ul style="list-style-type: none"> ・病院の理念に基づき、全ての患者の権利と人格を尊重した患者中心の医療を提供すべく、「説明と同意の指針」を作成し、患者自身が医療の内容を理解し、納得した上で自分に合った治療法を選択できるよう、十分な説明を行うとともに、医療従事者による相談体制の充実、セカンドオピニオン制度の有効活用を推進した。 ・高齢多死社会を迎える中で今後ますます重要となる「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセス」については、地域包括ケア病棟において入院時に患者・家族へ働きかけを行った。 			地域性に応じた外国人通訳の設置は評価できる。 今後、外国人の高齢化も進むため、医療に限らず介護や暮らしなど、多様な相談への対応も念頭に説明資料などを充実されたい。 高齢化の進展に伴い、ACP の院内実施率を高められるよう、取り組まれたい。														

中期計画	法人自己評価	評価	評価	設立団体の評価																																
	<p>・外国人患者の医療サポートを行うために、ポルトガル語、スペイン語の医療通訳者 2 名を配置し、診療現場からの要請や患者からの電話の問合せ等、地域の医療ニーズに対応した。</p> <p><u>評価等</u></p> <p>・患者の権利と人格を尊重した説明と同意、セカンドオピニオンの活用、外国人患者の医療サポート等、計画通りである。</p> <p>・今後も、患者中心の医療提供を推進していく。</p>																																			
<p>(2)職員の接遇向上</p> <p>市民に選ばれ、市民が満足できる病院であるため、職員一人ひとりが接遇の重要性を深く認識する必要があり、定期的な患者満足度調査及び接遇研修会の開催により接遇意識の向上を図っていく。</p> <table border="1" data-bbox="215 1110 562 1289"> <tr> <td>目標指標</td> <td>平成29年度実績</td> <td>令和4年度目標</td> </tr> <tr> <td>感謝の件数</td> <td>76件</td> <td>80件</td> </tr> </table>	目標指標	平成29年度実績	令和4年度目標	感謝の件数	76件	80件	<p>(2) 職員の接遇向上</p> <table border="1" data-bbox="651 587 1335 663"> <tr> <td>年 度</td> <td>令和元年度</td> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> </tr> <tr> <td>評価結果</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </table> <p><u>主な実績等</u></p> <p>・市民に選ばれ、市民が満足できる病院であるため、定期的に接遇研修を実施し、接遇意識向上を図った。</p> <p>・定期的に患者満足度調査を実施し、報告会の実施と課題解決に向けた取り組みを進め、医療サービスの向上に努めた。</p> <p><u>評価等</u></p> <p>・感謝の件数は目標に達しなかったが、接遇研修は工夫を凝らしながら実施しており計画通りである。患者満足度調査結果からは、全職員の接遇評価にはばらつきがみられる状況である。今後も全職員の接遇意識向上に努めていく。</p> <table border="1" data-bbox="633 1114 1301 1294"> <tr> <td>目標指標</td> <td>H29 実績</td> <td>R1 目標 実績</td> <td>R2 目標 実績</td> <td>R3 目標 実績</td> <td>R4 目標</td> </tr> <tr> <td>感謝の件数</td> <td>76例</td> <td>78例 41例</td> <td>79例 70例</td> <td>80例 62例</td> <td>80例</td> </tr> </table>	年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価結果	2	3	3	目標指標	H29 実績	R1 目標 実績	R2 目標 実績	R3 目標 実績	R4 目標	感謝の件数	76例	78例 41例	79例 70例	80例 62例	80例	3	2	<table border="1" data-bbox="1637 584 1977 659"> <tr> <td>元年度</td> <td>2年度</td> <td>3年度</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> </table> <p>感謝の件数が3年連続で目標に達せず「2」評価とした。</p> <p>一人の接遇対応が病院全体の印象や評価を決めることになるため、患者評価のばらつきを減らせるよう、改善・工夫されたい。</p>	元年度	2年度	3年度	2	3	2
目標指標	平成29年度実績	令和4年度目標																																		
感謝の件数	76件	80件																																		
年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度																																	
評価結果	2	3	3																																	
目標指標	H29 実績	R1 目標 実績	R2 目標 実績	R3 目標 実績	R4 目標																															
感謝の件数	76例	78例 41例	79例 70例	80例 62例	80例																															
元年度	2年度	3年度																																		
2	3	2																																		

中期計画	法人自己評価	評価	評価	設立団体の評価														
<p>(3)健康長寿のまちづくりへの貢献</p> <p>出前講座を要望に応じて開催し、市民への健康増進啓発活動、健康講座及び公開講座を定期的実施することで市民との繋がりを深め、健康長寿のまちづくりへ貢献していく。</p>	<p>(3)健康長寿のまちづくりへの貢献</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評価結果</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>主な実績等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度から、当院で行っている医療をPRするために市民公開講座を開始し、参加者からは高い評価を得た。 令和2年度以降については、新型コロナ感染拡大の影響により、病院ホームページ、YouTube、あいコムこうか（甲賀市ケーブルテレビ）等を利用し情報発信を行った。 <p><u>評価等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍、公開講座等の開催は困難となったが、医療情報を様々な方法を用いて情報発信を行っており、計画を上回っている。今後も両市民に向けた有益な情報を提供していく。 	年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価結果	4	4	3	4	3	<table border="1"> <thead> <tr> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>公開講座に代わり多くのコンテンツを作成されているが、高齢者への啓発を考えると、院内での待ち時間を利用するなど、発信方法や媒体を工夫されたい。</p>	元年度	2年度	3年度	4	3	3
年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度															
評価結果	4	4	3															
元年度	2年度	3年度																
4	3	3																
<p>(4)積極的な広報と市民への情報提供</p> <p>当院ホームページや広報紙、院内掲示などを活用し、保健医療に関する情報や当院の診療方針や内容及び実績などを積極的に公開していく。</p>	<p>(4)積極的な広報と市民への情報提供</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評価結果</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>主な実績等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 病院ホームページや広報紙により、医療情報等の提供を行った。令和3年度にはホームページのリニューアルを行うことでスマートフォン対応となり、新たに健診メニューや人材募集等のサイトを立ち上げ、効果的な情報発信に努めた。 イベント開催時には、広報紙、SNS、新聞折り込み広告、両市民への回覧板、両市の全小学校・関係公共機関・商業施設への 	年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価結果	4	3	4	4	3	<table border="1"> <thead> <tr> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>ホームページのリニューアルや広報紙の発行などに積極的に取り組んでおり、今後も継続されたい。</p> <p>ホームページやSNSなどに不慣れな方への配慮や、外来診療担当医の変更を予約患者に発信する方法</p>	元年度	2年度	3年度	4	3	3
年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度															
評価結果	4	3	4															
元年度	2年度	3年度																
4	3	3																

中期計画	法人自己評価	評価	評価	設立団体の評価
	<p>チラシ配布を行ったことにより、多数の参加者があり、効果的な広報が行えた。</p> <p><u>評価等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの更新により職員採用サイトが充実し、効果的な情報発信が可能となったことや継続的に広報誌が発行できており、計画を上回っている。 			なども検討されたい。

5. 医療従事者の確保・育成

中期目標	<ul style="list-style-type: none"> ・医療従事者の確保・育成については、医療圏域内の中核病院としての役割を果たし、安全安心な医療を安定的に提供できるよう、優秀な医療従事者の確保を円滑に行うことのできる制度の構築を行い、医療従事者の確保に努めること。 ・教育研修機能を充実させ、臨床研修医・臨床歯科研修医を積極的に受け入れること。 ・看護師養成機関と連携し、看護師養成に努力し、臨床研修施設としての役割を積極的に担っていくこと。又、他の医療専門職の養成においても協力すること。
------	---

中期計画	法人自己評価	評価	評価	設立団体の評価														
<p>5. 医療従事者の確保・育成</p> <p>甲賀保健医療圏内の中核病院としての役割を果たし、安全で安心な医療を安定的に提供できるよう、医師や看護師をはじめとする医療従事者の確保に努める。</p> <p>教育研修機能を充実させ、臨床研修医・臨床歯科研修医を積極</p>	<p>5. 医療従事者の確保・育成</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評価結果</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>主な実績等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師については、大学医局との良好な関係づくりにより、目標数を達成できた。研修医については、大学からの実習生の受入や指導體制を充実したことにより、令和3年度からはフルマツチを達成した。 	年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価結果	2	3	2	2	3	<table border="1"> <thead> <tr> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>大学医局との関係強化や研修機能の充実により、医師確保が進んでいる点は評価できる。</p> <p>地域の医師確保につながるよう、圏域の中核病院として医師の育成</p>	元年度	2年度	3年度	2	3	3
年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度															
評価結果	2	3	2															
元年度	2年度	3年度																
2	3	3																

中期計画			法人自己評価						評価	評価	設立団体の評価
<p>的に受け入れていく。また、甲賀看護専門学校をはじめとする看護師養成機関と連携して看護師の養成に努力し、臨床研修施設としての役割を積極的に担って行く。また、他の医療専門職の養成においても同様に協力していく。</p>			<p>・看護師採用については、新たな取り組みとして京都・三重の大学訪問、学生向けの就職サイト、人材紹介業者を導入し、更にホームページの更新により看護職員の募集強化を図った。 また、離職防止策の取り組みとして、新入職者対象のメンタルヘルス研修や中間管理職による面談を行い、メンタル不調の早期発見、防止に努めた。</p> <p>評価等</p> <p>・看護師目標数が達成できていないので、計画達成は遅れている。更なる採用活動及び離職防止対策に取り組む必要がある。</p>								<p>にも尽力されたい。</p> <p>看護師の確保については、病院や看護学校の更なる努力と工夫を前提としつつ、行政等との連携により、潜在看護師の開拓など多面的な施策展開も検討されたい。</p>
目標指標	平成 29 年度 実績	令和 4 年度 目標	目標 指標	H29 実績	R1 目標 実績	R2 目標 実績	R3 目標 実績	R4 目標			
医師数	70 人	77 人	医師数	— 70 人	75 人 74 人	75 人 80 人	76 人 80 人	77 人			
看護師数	367 人	403 人	看護師数	— 357 人	360 人 354 人	372 人 350 人	388 人 358 人	403 人			
看護職員 離職率	9.3%	9.3%	看護職員 離職率	— 9.3%	9.3% 10.2%	9.3% 7.4%	9.3% 13.4%	9.3%			

業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するために取るべき措置

1. 効率的・効果的な業務運営

中期目標	<p>・効率的・効果的な業務運営については、病院の理念及び基本方針を全職員に浸透させ、日々の業務の中で実践できるように取り組み、全職員が継続的に業務改善に取り組めるような組織風土の醸成に努めること。</p> <p>・病院運営・経営基盤を支える組織体制の整備については、弾力的な人員配置計画を策定、実施し、適切な人員数で病院運営を効率的に行える組織体制の整備に努めること。</p>
------	---

	<p>・施設の充実と病院機能の強化については、患者に良質な医療を提供するため、医療機器の充実や施設整備に努め、医療資源が有効活用できるような計画的予算作成を行い、その投入効果を適時検証する体制を整備して運営すること。</p>
--	--

中期計画	法人自己評価	評価	評価	設立団体の評価														
<p>(1)病院の理念と基本方針の浸透 病院の理念及び基本方針を全職員に浸透させ、日々の業務の中で実践出来るように情報を発信し共有できるよう取り組んでいく。また、全職員が継続的に業務改善に取り組めるような組織風土の醸成に努める。</p>	<p>(1)病院の理念と基本方針の浸透</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> <tr> <td>評価結果</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </table> <p><u>主な実績等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・理念は、病院正面玄関と講堂等に掲示するとともに、ホームページ上や職員の名札の裏面に記載し、式典及び行事等の開催時に参加者全員で唱和を実施するなど浸透に努めた。 ・基本方針については、年度当初に理事長から全職員向けのビデオメッセージで説明を行い浸透に努めた。 <p><u>評価等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事長が、年度当初をはじめ随時メッセージを発信し浸透に努めており、計画どおりである。 	年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価結果	3	3	3	3	3	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> </tr> <tr> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </table> <p>理事長から積極的にメッセージを発信されており、全職員への浸透させるため反復・継続に努められたい。</p> <p>実践につながる教育システムや評価の仕組みを構築されたい。</p>	元年度	2年度	3年度	3	3	3
	年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度														
評価結果	3	3	3															
元年度	2年度	3年度																
3	3	3																
<p>(2)病院運営・経営基盤を支える組織体制の整備 理事長直轄組織である経営戦略室を中心として経営企画会議を開催し、適正な人員配置のもとに、諸課題に対し迅速に対処できる組織体制を構築し、当中期計画及び年度計画の達成を図る。</p>	<p>(2)病院運営・経営基盤を支える組織体制の整備</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> <tr> <td>評価結果</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </table> <p><u>主な実績等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事長直轄組織の内部監査室及び院長直轄組織の経営戦略室を組織することで法人のガバナンス体制を整えた。 ・設立団体からの評価・意見については、幹部会、経営企画会議において対応を検討し、課題解決に努めた。メディカルスタッフ会議などを通じて病院の運営方針を全職員に向けて周知し、中期計画や年度計画の達成に努めた。 	年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価結果	3	4	4	4	3	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> </tr> <tr> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </table> <p>組織体制の整備は計画通り行われている。 整備されたガバナンス体制のもと、病院経営の安定化に向けた具体的な取り組みの推進を期待する。</p>	元年度	2年度	3年度	3	3	3
年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度															
評価結果	3	4	4															
元年度	2年度	3年度																
3	3	3																

中期計画	法人自己評価	評価	評価	設立団体の評価														
	<p><u>評価等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・院長直轄組織である経営戦略室を中心に経営の諸課題に対し迅速に対処できる組織体制を構築しており、計画を上回っている。経営支援コンサルタントとの協同により、経営安定化に向けた取り組みを進めていく。 			<p>設置団体の評価及び指摘事項が、次の年度計画等に反映されていくよう、PDCA サイクルを運用されたい。</p>														
<p>(3) 施設の充実と病院機能の強化 患者に良質な医療を提供するために医療機器の充実や施設整備に努めるが、医療資源が有効活用できるよう計画的に予算を作成し、初期投資以降のメンテナンス費用を含む費用対効果を経営企画会議において適時検証していく。</p>	<p>(3) 施設の充実と病院機能の強化</p> <table border="1" data-bbox="656 587 1335 663"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評価結果</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>主な実績等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画的な予算のもと、費用対効果を検証しながら医療機器の購入に努め、安全・安心かつ高度医療の提供を行った。 ・施設整備においては、3 期に渡る空調設備の更新により、療養環境の向上に加え、CO2 排出量の低減、経費削減につなげることができた。 <p><u>評価等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中期計画予算に沿った整備を進めており、計画通りである。今後も安全・安心な医療提供のため、計画的な整備を行っていく。 	年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価結果	3	4	3	3	3	<table border="1" data-bbox="1637 587 1980 663"> <thead> <tr> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>審査会で検討のうえ、ニーズと予算に沿った機器整備が行われている。</p> <p>地域医療機関との共同利用を推進し、高額機器の有効活用、投資回収を図られたい。</p>	元年度	2年度	3年度	3	4	3
年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度															
評価結果	3	4	3															
元年度	2年度	3年度																
3	4	3																

2. 職員のやりがいと満足度の向上

中期目標	<ul style="list-style-type: none"> ・職員育成体制の整備・強化については、人材育成を戦略的・計画的に行うため、職員の専門知識向上や職務能力向上に努めること。 ・資格取得の支援については、職員の向上心が高まるよう、資格取得・維持に関する支援をさらに充実させ、患者の多様なニーズに応えることはもとより、病院経営に資する認定や専門資格の取得を積極的に促し、診療レベルや病院経営能力の向上に努めること。 ・人事評価制度の構築については、目標管理や人事評価制度の活用による職員の意識改革を行い、経営の向上と人材育成に努めること ・法人事務職員の育成については、優秀な職員を採用して研修に努めさせ、病院特有の業務に精通する能力の高い事務職員へと育成していくこと。 ・職員の意識改革については、職員各自が、病院の理念、目標に沿った課題に自発的、積極的に取り組む風土醸成に努めること。 <p>又、職員相互がコンプライアンスを遵守しながら組織横断的に補完し合うことにより、効率的で質の高い医療を提供するような職場風土の醸成に努めること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークライフバランスについては、働きやすい職場環境づくりのために、勤務形態の多様化を進めるなど、職員にとって望ましいワークライフバランスを構築していくこと ・個人情報の保護については、職員に個人情報を保護することの重要性を認識させ、その管理を徹底させること。
------	---

中期計画	法人自己評価	評価	評価	設立団体の評価														
(1)職員育成体制の整備・強化 人材育成を戦略的・計画的に行うため、地方独立行政法人化後の初年度に育成プログラムを策定する。また院外の研修会参加などを通して、職員の専門知識の向上や職務能力の向上に努める。更に知識や能力を効果的に発揮できるよう、研修、学	(1)職員育成体制の整備・強化 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>年 度</td> <td>令和元年度</td> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> </tr> <tr> <td>評価結果</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </table> <p>主な実績等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全職種の中堅職員による日本医療経営機構人材育成プログラムを導入し、将来の幹部候補として問題解決技法の習得を図った。 ・看護部では、クリニカルリーダーによる看護実践能力の向上に取 	年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価結果	3	3	3	3	3	<table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>元年度</td> <td>2年度</td> <td>3年度</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </table> <p>外部の研修制度を有効活用するとともに、院内発表会を通じた職場の活性化に引き続き取り組まれたい。</p>	元年度	2年度	3年度	3	3	3
年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度															
評価結果	3	3	3															
元年度	2年度	3年度																
3	3	3																

中期計画	法人自己評価	評価	評価	設立団体の評価														
<p>会、会議及び院内学術発表会といった場での発表を通じてコミュニケーション能力の向上にも努める。</p>	<p>り組み、新人職員については、他施設での研修を行った。また、認定看護師を対象に滋賀医科大学医学部附属病院の特定行為研修を受講させるなど、人材の育成を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療の質向上及び経営改善に関する各部署の取り組み内容をアピールする場として「院内発表会」を定期的で開催し、職員の投票と研修企画委員会による評価により最優秀賞 1 演題、優秀賞 2 演題を選出し、職員の育成並びに組織の活性化につなげた。 <p><u>評価等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 人材育成プログラムの導入、院内研究発表会等により、人材育成を行っており、計画通りである。 																	
<p>(2)資格取得の支援</p> <p>学会参加や論文発表等を推進し、職員の専門性の向上を図ると共に、認定資格等の取得・維持に関する支援をさらに充実させていく。患者の多様なニーズに応えることはもとより、病院経営に資する認定や専門資格の取得を積極的に促し、病院経営や診療レベルの向上に努める。</p>	<p>(2)資格取得の支援</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評価結果</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>主な実績等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 職員の専門性の向上を図るとともに、病院機能及び病院経営の向上のため、資格取得・更新に関する支援を積極的に行った。 病院経営に直結する資格については、後継者の育成に努めた。 <p><u>評価等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的な資格取得支援により病院機能の向上につながっており、計画を上回っている。 	年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価結果	4	4	4	4	4	<table border="1"> <thead> <tr> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>引き続き、職員の自発的な資格取得を促進するとともに、特に病院経営に直結する資格については、戦略的な有資格者の育成・確保に努められたい。</p>	元年度	2年度	3年度	4	4	3
年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度															
評価結果	4	4	4															
元年度	2年度	3年度																
4	4	3																
<p>(3)人事評価制度の構築</p> <p>部門別目標管理や人事評価制度の導入による職員の意識改革を行い、経営の向上と人材育成</p>	<p>(3)人事評価制度の構築</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評価結果</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価結果	3	3	3	3	3	<table border="1"> <thead> <tr> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	元年度	2年度	3年度	3	3	3
年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度															
評価結果	3	3	3															
元年度	2年度	3年度																
3	3	3																

中期計画	法人自己評価	評価	評価	設立団体の評価														
に努める。また、専門職種のキャリア形成を支援するとともに、特定分野において専門的な知識や技術を得た職員を積極的かつ効果的に活用していく。	<p><u>主な実績等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 期首、期中、期末に職員の個別面談を行い、所属長（上席者）より個人に対して、フィードバックを実施した。個別面談を実施することで更なるコミュニケーションが図れ、職場の問題点の発見、改善にもつながった。 人材育成シートの見直しをおこなったことで、適正な項目別評価が可能となった。 <p><u>評価等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 人事評価の運用は、おおむね計画通りである。今後は、本制度の活用により、職員の意識改革と人材育成に努めていく。 			地方独立行政法人化のメリットの一つとされている独自の人事制度構築を推進されたい。														
(4) 法人事務職員の育成 優秀な職員を採用し、研修参加や診療情報管理士をはじめとした資格の取得を支援しつつ、病院特有の業務に精通する経営マネジメント能力の高い職員へと育成していく。	<p>(4) 法人事務職員の育成</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評価結果</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>主な実績等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 毎年度、日本医療経営機構による人材育成プログラムに参加、講義並びに課題レポートによる問題解決技法の習得、また、病院経営者育成塾のオンライン研修に参加、幹部職員を交えた伝達講習会を実施し、経営管理能力の醸成を図った。 <p><u>評価等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的な人材育成プログラムの導入や資格取得支援を行い、計画を上回っている。 	年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価結果	3	4	4	4	4	<table border="1"> <thead> <tr> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>積極的な人材育成の姿勢を評価する。</p> <p>長期的な視点で人材育成を図るとともに、優秀な事務職員の幹部登用など、人事評価制度との連動を推進されたい。</p>	元年度	2年度	3年度	3	4	4
年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度															
評価結果	3	4	4															
元年度	2年度	3年度																
3	4	4																
(5) 職員の意識改革 各部門が設定した部門目標について、院長が随時面談を行い、部門目標達成に向けて直面した課題に対処する。そのため	<p>(5) 職員の意識改革</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評価結果</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>主な実績等</u></p>	年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価結果	3	4	4	4	4	<table border="1"> <thead> <tr> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>院長リーダーシップのもと、職員</p>	元年度	2年度	3年度	3	4	4
年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度															
評価結果	3	4	4															
元年度	2年度	3年度																
3	4	4																

中期計画	法人自己評価	評価	評価	設立団体の評価														
<p>に院長及び各部門長がリーダーシップを発揮し、組織内における適切な権限委譲と責任の明確化を図った上で、コンプライアンスを遵守しながら、相互の連絡体制を密にして、効率的・効果的な部門運営が出来るように努める。</p>	<p>・毎年度、院長が年度方針を発表するとともに、部門長面談において、現状把握と目標課題を協議することで年度計画達成に向けた意識向上を図った。</p> <p>・令和3年度からは経営支援コンサルを導入し、病院の主要な課題について全職員が共有し、組織横断的に補完し取り組むことで、さらなる経営改善に向けた職員意識の改革につなげた。</p> <p><u>評価等</u></p> <p>・院長のリーダーシップのもと、全職員が中期目標・計画達成に向けた課題を共有し、経営改善に向けた取り組みが進んでおり、計画を上回っている。</p>			<p>の意識改革に積極的に取り組んでおられる。</p> <p>病院の中だけを見るのではなく、常に患者の生活目線で医療提供ができるよう、職員の意識づけを行っていただきたい。</p> <p>意識改革の結果、どう変わったのかを評価したい。</p>														
<p>(6)ワークライフバランス</p> <p>職員全体の勤務時間の均衡を図りつつ、勤務形態多様化の検討・推進などにより、職員のワークライフバランスを確保するよう努める。</p>	<p>(6)ワークライフバランス</p> <table border="1" data-bbox="656 730 1335 802"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評価結果</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>主な実績等</u></p> <p>・毎月の衛生委員会において、労働衛生管理を行っており、諸課題について具体的な検討を行い、改善を図った。</p> <p>・働き方においては、多様な勤務形態の採用、インターバルの確保も行い、不妊治療休暇や介護休暇の取得推進など、働きやすい環境を整えた。</p> <p>・看護師の業務負担軽減として、多職種による業務検討委員会を設置し、順次タスクシフトを行った。</p> <p><u>評価等</u></p> <p>・衛生委員会における労働衛生管理、働きやすい環境整備等、おおむね計画通りである。今後は医師の働き方改革への取り組みが必要である。</p>	年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価結果	3	4	3	3	3	<table border="1" data-bbox="1637 724 1977 796"> <thead> <tr> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>医師・看護師のタスクシフトについては、今後も積極的に取り組んでいただきたい。</p> <p>職員個々の状況に応じた適正な配置や、柔軟な勤務形態など環境整備に努められたい。</p>	元年度	2年度	3年度	3	4	3
年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度															
評価結果	3	4	3															
元年度	2年度	3年度																
3	4	3																

中期計画	法人自己評価	評価	評価	設立団体の評価														
(7) 個人情報の保護 職員及び外部委託事業者向けに個人情報保護の啓発を行うために、研修を通じて管理を徹底させていく。	(7) 個人情報の保護 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評価結果</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>主な実績等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人としての個人情報保護対応については、病院組合条例に則り、施行している。 ・定期的に職員及び外部委託事業者向けに研修会を開催し、個人情報保護の啓発を行った。 <p><u>評価等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的な研修会の開催により意識の向上を図っており、計画通りである。 	年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価結果	3	3	3	3	3	<table border="1"> <thead> <tr> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>他の医療機関や公的機関における個人情報漏洩、ハッキング事案を他山の石として十分に留意されたい。</p> <p>必要に応じマニュアル等を整備・共有されたい。</p>	元年度	2年度	3年度	3	3	3
年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度															
評価結果	3	3	3															
元年度	2年度	3年度																
3	3	3																

財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置

1. 収入の確保

中期目標	(収入管理機能の強化について) <ul style="list-style-type: none"> ・未収金の発生防止に努めること。 ・病床利用率の向上と在院日数の短縮を目指すこと。 ・適正な収入を確保するために適切な診療報酬請求に努めること。
------	--

中期計画	法人自己評価	評価	評価	設立団体の評価														
(1) 収入管理機能の強化 救急患者のスムーズな受け入れや病診連携の強化、さらには病棟管理部による効率的なベッドコントロールなどにより、病	(1) 収入管理機能の強化 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評価結果</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>主な実績等</u></p>	年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価結果	3	2	2	2	2	<table border="1"> <thead> <tr> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>新入院患者数・病床利用率は計画</p>	元年度	2年度	3年度	3	2	2
年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度															
評価結果	3	2	2															
元年度	2年度	3年度																
3	2	2																

中期計画			法人自己評価						評価	評価	設立団体の評価
<p>床利用率の向上と在院日数の短縮を目指す。適正に収入を確保するために請求漏れの防止に努め、査定や返戻には適切に対処する。診療収入に対する未収金発生率を縮減させるとともに、窓口未収金回収率の向上に努める。</p>			<p>・経営課題である病床利用率を高めるため、断らない救急や病診連携の強化を図るとともに、DPC などの診療データを集積・分析し、病院経営の指標として活用し収益向上につなげた。 また、令和 3 年度から経営コンサルタントを導入、業務分析や他病院とのベンチマーク分析等により課題を抽出し、クリニカルパス適用率の向上による効率的な医療の提供及び適正な診療報酬請求等により、収益向上に努めた。</p> <p>・診療収入窓口未収金については、支払い困難が予見される患者に対しては社会福祉士と連携し、発生率の低下に努めた。未収金発生時には、電話および郵便督促を頻回に行い、患者へのアナウンスを強化し、更に令和 3 年度から、回収困難な窓口未収金に対しては、弁護士法人への債権回収業務委託を開始し、回収率の向上を図った。</p> <p><u>評価等</u></p> <p>・コロナ禍、新型コロナウイルス感染患者受入のため、稼働病床数を減床したこともあり、病床利用率は目標数を大きく下回ったが、急性期患者受入を確保するため効率的なベッドコントロールを図ったことにより、平均在院日数は目標数値を達成した。また、救急患者の受入増及び病診連携の強化に伴い手術件数等が増加し、診療情報データの分析に基づいた適正な診療報酬算定により診療単価は目標数値を上回った。結果としては、病床利用率の低下が大きく影響し、収益目標を達成することが出来ず、収入管理機能の強化は遅れている状況である。</p> <p>・今後も、断らない救急、マーケティング分析、病診連携等による集患対策をさらに強化するとともに効率的なベッドコントロールに努め、医業収益の増加を図っていく。</p>								<p>に対し大幅未達となった。要因はコロナ禍だけではなく、看護師不足による病床休止の影響も大きい。</p> <p>入院単価の上昇は、回復期病床を減床したことにより平均単価が押し上がった側面もある。</p> <p>急性期患者受入を確保するため効率的なベッドコントロールを図ったことにより、平均在院日数は目標数値を達成した。</p> <p>救急患者の受け入れや手術件数の増加など尽力されているが、入院部門を中心に、収入管理機能の強化は、引き続き経営上の重要課題である。</p>
目標指標	平成 29 年度実績	令和 4 年度目標	目標指標	H29 実績	R1 目標実績	R2 目標実績	R3 目標実績	R4 目標			

中期計画			法人自己評価						評価	評価	設立団体の評価		
平均在院日数	11.7日	11.5日	平均在院日数	— 11.7日	11.7日 10.5日	11.7日 11.1日	11.6日 10.3日	11.5日					
新入院患者数	19.9人	25.0人	新入院患者数	— 19.9人	21.9人 19.4人	22.9人 17.8人	23.9人 18.4人	25.0人					
病床利用率	81.7%	89.9%	病床利用率	— 81.7%	84.1% 74.5%	85.5% 68.9%	87.7% 63.3%	89.9%					
入院診療単価	49,036円	52,951円	入院診療単価(円)	— 49,036	49,473 52,062	50,968 55,397	52,063 60,451	52,951					
外来患者数	231,821人	228,420人	外来患者数(人)	— 231,821	230,580 221,543	229,635 206,567	227,480 214,769	228,420					
外来診療単価	12,727円	13,900円	外来診療単価	— 12,727	13,200 13,847	13,550 14,711	13,900 15,186	13,900					
窓口未収金発生率	1.3%	1.3%	窓口未収金発生率	— 1.3%	1.3% 1.5%	1.3% 1.6%	1.3% 1.4%	1.3%					

財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置

2. 支出の削減(抑制)

中期目標	<p>(費用管理機能の強化について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全職員がコスト意識を身につけることで経費の削減に努めること。 ・地方独立行政法人としてのメリットを最大化できるよう常に工夫を重ねること。 ・給与費については、給与水準や職員配置の見直し、業務の委託等に努めること。 ・材料費については、費用対効果の考え方のもと、費用の抑制に努めること。 ・経費については、民間の取組事項を参考にしながら縮減に取り組むこと。
------	---

中期計画	法人自己評価	評価	評価	設立団体の評価		
(1) 費用管理機能の強化	(1) 費用管理機能の強化	2	2	元年度	2年度	3年度

中期計画			法人自己評価				評価	評価	設立団体の評価																																								
全職員がコスト意識を身につけ、物品の在庫・使用管理や購入方法・契約方法などの見直しなどによって経費削減に努める。			年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			2	2	2																																						
			評価結果	2	2	2																																											
<p>主な実績等</p> <ul style="list-style-type: none"> 診療材料、薬品については、ベンチマークを活用し標準値より上方乖離した品目を重点的に見直すための価格交渉を実施した。 経費については、光熱水費や委託費等、長期的な削減策が必要となるため、情報収集を進めることで有利な交渉に繋げた。また、老朽化が進んだ空調設備を更新することによって、経費削減に努めた。 <p>評価等</p> <ul style="list-style-type: none"> 給与費比率、材料費比率、経費比率とも、目標を達成できなかった。費用管理機能の強化はコロナ禍において、遅れている状況である。なお、今後も全職員がコスト意識を身につけ取り組んでいく。 後発医薬品については導入推進の結果、目標値を達成した。 									<p>材料費比率、経費比率は、医業収入の落ち込みに加え、コロナ禍による特殊要因も影響している。コスト削減のため、共同購入の仕組みなどを検討されたい。</p> <p>給与費比率に関しては、目標との乖離が大きく、金額的にも経営へのインパクトが大きい。全職員が「自分事」として受け止め、収支改善に臨まれたい。</p>																																								
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標指標</th> <th>平成29年度実績</th> <th>令和4年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給与費比率</td> <td>60.0%</td> <td>57.4%</td> </tr> <tr> <td>材料費比率</td> <td>21.4%</td> <td>21.4%</td> </tr> <tr> <td>経費比率</td> <td>15.1%</td> <td>13.6%</td> </tr> </tbody> </table>	目標指標	平成29年度実績	令和4年度目標	給与費比率	60.0%	57.4%	材料費比率	21.4%	21.4%	経費比率	15.1%	13.6%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標指標</th> <th>H29実績</th> <th>R1目標実績</th> <th>R2目標実績</th> <th>R3目標実績</th> <th>R4目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給与費比率</td> <td>— 60.0%</td> <td>59.6% 63.4%</td> <td>58.6% 65.7%</td> <td>57.9% 63.7%</td> <td>57.4%</td> </tr> <tr> <td>材料費比率</td> <td>— 21.4%</td> <td>21.6% 22.3%</td> <td>21.4% 22.7%</td> <td>21.4% 23.4%</td> <td>21.4%</td> </tr> <tr> <td>経費比率</td> <td>— 15.1%</td> <td>14.7% 15.1%</td> <td>14.3% 15.3%</td> <td>13.9% 16.0%</td> <td>13.6%</td> </tr> <tr> <td>後発医薬品導入率</td> <td>— 70.9%</td> <td>76.9% 81.7%</td> <td>79.9% 87.9%</td> <td>82.9% 88.0%</td> <td>85.0%</td> </tr> </tbody> </table>	目標指標	H29実績	R1目標実績	R2目標実績	R3目標実績	R4目標	給与費比率	— 60.0%	59.6% 63.4%	58.6% 65.7%	57.9% 63.7%	57.4%	材料費比率	— 21.4%	21.6% 22.3%	21.4% 22.7%	21.4% 23.4%	21.4%	経費比率	— 15.1%	14.7% 15.1%	14.3% 15.3%	13.9% 16.0%	13.6%	後発医薬品導入率	— 70.9%	76.9% 81.7%	79.9% 87.9%	82.9% 88.0%	85.0%			
目標指標	平成29年度実績	令和4年度目標																																															
給与費比率	60.0%	57.4%																																															
材料費比率	21.4%	21.4%																																															
経費比率	15.1%	13.6%																																															
目標指標	H29実績	R1目標実績	R2目標実績	R3目標実績	R4目標																																												
給与費比率	— 60.0%	59.6% 63.4%	58.6% 65.7%	57.9% 63.7%	57.4%																																												
材料費比率	— 21.4%	21.6% 22.3%	21.4% 22.7%	21.4% 23.4%	21.4%																																												
経費比率	— 15.1%	14.7% 15.1%	14.3% 15.3%	13.9% 16.0%	13.6%																																												
後発医薬品導入率	— 70.9%	76.9% 81.7%	79.9% 87.9%	82.9% 88.0%	85.0%																																												

中期計画			法人自己評価		評価	評価	設立団体の評価	
後発医薬品 導入率	70.9%	85.0%	◎各指標は、対医業収益比率で表示（後発医薬品除く） ◎給与費比率・経費比率には、一般管理費含む					
◎給与費比率・経費比率には、 一般管理費含む								

財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置
3. 経営基盤の安定化

中期目標	<p>(効率的、効果的な業務運営・業務プロセスの改善について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中期目標等を着実に達成できるよう、PDCA サイクルによる目標管理を徹底し、経常収支比率及び医業収支比率を向上させること。 ・中期目標及び中期計画の枠の中で、弾力的な予算の編成と執行を行うこと。
------	---

中期計画		法人自己評価				評価	評価	設立団体の評価							
(1) 効率的・効果的な業務運営・業務プロセスの改善 各指標の目標達成状況を定期的にモニタリングし、経常収支比率及び医業収支比率の改善に努める。	(1) 効率的・効果的な業務運営・業務プロセスの改善				2	2	<table border="1"> <thead> <tr> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>			元年度	2年度	3年度	2	2	2
	元年度	2年度	3年度												
2	2	2													
<p><u>主な実績等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月の理事会、幹部会で経営状況を報告し、経営課題について協議を行い経営改善に努めた。令和3年度からは経営支援コンサルを導入し、経営改善に向け医療の質と各種指標の向上に努めた。 <p><u>評価等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・医業収支比率は、主にコロナ禍による病床利用率の低下により入院収益が減少し、目標値を下回った。なお、外来収益は、延 				<p>病床利用率の低下は、コロナ以前から看護師不足による休床が影響している。</p> <p>新型コロナ病床確保補助金は、一時的な経常収益に寄与したものの、本業である医業収支ベースでの収支改善が急務である。</p>											

中期計画			法人自己評価					評価	評価	設立団体の評価
			<p>べ患者数と診療単価の増加が相まって、収益向上がみられた。経常収支比率は、令和3年度においては新型コロナ病床確保補助金の受入により目標値を上回ったが、期間を通しての経営改善は遅れている状況である。</p>							
目標指標	平成29年度実績	令和4年度目標	目標指標	H29実績	R1目標実績	R2目標実績	R3目標実績	R4目標		
経常収支比率	98.3%	101.8%	経常収支比率	— 98.3%	98.4% 91.2%	99.1% 96.6%	101.0% 103.7%	101.8%		
医業収支比率	92.2%	99.8%	医業収支比率	— 92.2%	94.5% 88.9%	95.5% 86.2%	98.8% 88.6%	99.8%		
◎医業収支比率には、一般管理費含む			◎医業収支比率には、一般管理費含む							

財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置

4. 運営費負担金の考え方

中期目標	<ul style="list-style-type: none"> 地方独立行政法人法の趣旨に沿った基準による適切な運営費負担金を中期計画に計上すること。 自治体病院として担うべき政策医療における不採算部門への取り組みを継続し、市民にとって必要不可欠な病院として、財政負担の理解を得られるよう効率的な経営、収益的収支の向上に努め、自立した運営を図ること。
------	--

中期計画	年度計画	実績報告
運営費負担金については、「公立甲賀病院組合負担金分賦割合に関する条例（平成16年公立甲賀病院組合条例第7号）」に基づき算定した額とする。	運営費負担金については、「公立甲賀病院組合負担金分賦割合に関する条例（平成16年公立甲賀病院組合条例第7号）」に基づき算定した額とする。	4. 運営費負担金の考え方 公立甲賀病院運営費負担金については、公立甲賀病院組合負担金分賦割合に関する条例に基づき繰り入れを受けた。

中期計画	年度計画	実績報告
また、建設改良費及び長期借入金等元利償還金に充当される運営費負担金については、経常費助成のための運営費負担金とする。	また、建設改良費及び長期借入金等元利償還金に充当される運営費負担金については、経常費助成のための運営費負担金とする。	

財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置

5. 安定した資金収支、資産の有効活用

中期目標	・計画的な資金管理、資産の有効活用に努めること。
------	--------------------------

中期計画	年度計画	実績報告
	安定した資金収支、資産の有効活用に努める。	5. 安定した資金収支、資産の有効活用 退職手当資金の運用として地方債及び定期預金にて運用を行った。

項目ごとの状況

予算(人件費の見積りを含む)、収支計画及び資金計画

※別紙1を参照。

短期借入金の限度額

中期計画	年度計画	実績報告
(1) 限度額 1,000 百万円 (2) 想定される短期借入金の発生理由	(1) 限度額 1,000 百万円 (2) 想定される短期借入金の発生理由	(1) なし。 (2) なし。

ア 大規模災害等、偶発的な出費への対応	ア 大規模災害等、偶発的な出費への対応	
---------------------	---------------------	--

重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画

中期計画	年度計画	実績報告
(1)なし。	(1)なし。	(1)なし。
剰余金の使途		

中期計画	年度計画	実績報告
決算において剰余金を生じた場合は、病院施設の整備、医療機器の購入などに充てる。	決算において剰余金を生じた場合は、病院施設の整備、医療機器の購入などに充てる。	剰余金は生じていない。

料金に関すること(公営企業型のみ)

中期計画	年度計画	実績報告
料金に関すること(公営企業型のみ) 1 料金は、次に掲げる額とする。 (1)健康保険法、高齢者の医療の確保に関する法律及び介護保険法その他法令に規定する算定方法により算定した額 (2)前号の規定により難しいものについては、別に理事長が定める額 2 料金の減免	料金に関すること(公営企業型のみ) 1 料金は、次に掲げる額とする。 (1)健康保険法、高齢者の医療の確保に関する法律及び介護保険法その他法令に規定する算定方法により算定した額 (2)前号の規定により難しいものについては、別に理事長が定める額 2 料金の減免	料金に関すること(公営企業型のみ) 1 料金は、次に掲げる額とする。 (1)健康保険法、高齢者の医療の確保に関する法律及び介護保険法その他法令に規定する算定方法により算定。 (2)前号の規定により難しいものについては、別に理事長が定める額で算定。 2 料金の減免

理事長は、特別の理由があると認めるときは、料金を減額し、または免除することができる。	理事長は、特別の理由があると認めるときは、料金を減額し、または免除することができる。	理事長は、特別の理由があると認めるときは、料金を減額し、または免除することができる。
--	--	--

その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

中期計画	年度計画	実績報告																																										
<p>その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項</p> <p>1 地域の医療水準向上への貢献に関する計画 (1) 施設及び設備 (単位：百万円)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">内容</th> <th style="width: 20%;">予定額</th> <th style="width: 50%;">財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療機器、施設等整備</td> <td style="text-align: center;">1,165</td> <td>公立甲賀病院組合長期借入金等</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 中期目標の期間を超える債務負担</p> <p>(1) 移行前地方債償還債務 (単位：百万円)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 15%;">中期目標期間償還額</th> <th style="width: 15%;">次期以降償還額</th> <th style="width: 15%;">総債務償還額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	内容	予定額	財源	医療機器、施設等整備	1,165	公立甲賀病院組合長期借入金等		中期目標期間償還額	次期以降償還額	総債務償還額					<p>その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項</p> <p>1 地域の医療水準向上への貢献に関する計画 (1) 施設及び設備 (単位：百万円)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">内容</th> <th style="width: 20%;">予定額</th> <th style="width: 50%;">財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療機器、施設等整備</td> <td style="text-align: center;">258</td> <td>公立甲賀病院組合長期借入金等</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 年度計画の期間を超える債務負担</p> <p>(1) 移行前地方債償還債務 (単位：百万円)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 15%;">年度計画期間償還額</th> <th style="width: 15%;">次期以降償還額</th> <th style="width: 15%;">総債務償還額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	内容	予定額	財源	医療機器、施設等整備	258	公立甲賀病院組合長期借入金等		年度計画期間償還額	次期以降償還額	総債務償還額					<p>その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項</p> <p>1 地域の医療水準向上への貢献に関する計画 (1) 施設及び設備 (単位：百万円)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">内容</th> <th style="width: 20%;">実績額</th> <th style="width: 50%;">財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療機器、施設等整備</td> <td style="text-align: center;">690</td> <td>公立甲賀病院組合長期借入金等</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 年度実績の期間を超える債務負担</p> <p>(1) 移行前地方債償還債務 (単位：百万円)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 15%;">償還額</th> <th style="width: 15%;">次期以降償還額</th> <th style="width: 15%;">総債務償還額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	内容	実績額	財源	医療機器、施設等整備	690	公立甲賀病院組合長期借入金等		償還額	次期以降償還額	総債務償還額				
内容	予定額	財源																																										
医療機器、施設等整備	1,165	公立甲賀病院組合長期借入金等																																										
	中期目標期間償還額	次期以降償還額	総債務償還額																																									
内容	予定額	財源																																										
医療機器、施設等整備	258	公立甲賀病院組合長期借入金等																																										
	年度計画期間償還額	次期以降償還額	総債務償還額																																									
内容	実績額	財源																																										
医療機器、施設等整備	690	公立甲賀病院組合長期借入金等																																										
	償還額	次期以降償還額	総債務償還額																																									

移行前地方債償還債務	2,046	6,938	8,984
(2)長期借入金償還債務 (単位：百万円)			
	中期目標 期間償還 額	次期以降 償還額	総債務償 還額
長期借入金償還債務	107	279	386
(3)積立金の処分に関する計画 中期計画期間の繰越積立金については、病院施設の整備又は医療機器の購入等に充てる。			

移行前地方債償還債務	591	6,939	7,530
(2)長期借入金償還債務 (単位：百万円)			
	年度計画 期間償還 額	次期以降 償還額	総債務 償還額
長期借入金償還債務	42	322	364
(3)積立金の処分に関する計画 中期計画期間の繰越積立金については、病院施設の整備又は医療機器の購入等に充てる。			

移行前地方債償還債務	1,455	7,529	8,984
(2)長期借入金償還債務 (単位：百万円)			
	償還額	次期以降 償還額	総債務 償還額
長期借入金償還債務	11	216	228
(3)積立金の処分に関する計画 なし。			